

最終講義／出版記念講演(2022.03.07)

## 「真の生、別の生」

多賀 茂

### 1. 挨拶、謝辞

中川久定・洋子 『紅萌』  
スプーディオの会  
丹治恒次郎、松本雅彦、早水洋太郎  
保科正章  
名古屋大学出版会 橘宗吾

### 2. 『概念と生』について

「ヒストリー・オブ・アイディアズ」講義  
10の概念  
一つの独立した概念などない→実は100ぐらいの概念  
カンギレム「概念と生」

### 3. ドゥルーズ、フーコー、バルトが最後に語った「生」

内在 L'immanence : une vie... (山内志朗『内在性の形而上学』)  
別の生 la vie autre  
新生 la Vita Nuova

### 4. 真の生、別の生

残る問題：なぜ真理は他性 *altérité* の側にある（フーコー）のか  
ドゥルーズ 内在は *une vie* としてのみ現れる  
個体であって個体でなく（シモンドン）、効果であり、出来事であり・・・

### 5. 「自由と運命」

5月、アンリ・マルディネ協会／リール・カトリック大学での発表  
自由と運命をつなぐものとしての「生」というテーマ  
「出来事としての治療」：他者との出会い 風 抵抗

### 6. 「生」と「命」、自ら伸びるものであり、受け取るものでもある

ソンドイの運命分析  
人間の運命は祖先から受け継いだ *pulsions* によって決定されている  
フロイトの概念をさらに生物学的、遺伝学的に深化  
Trieb フィヒテ（マルディネ）：見知らぬものへと引っ張る力

### 7. アガンベン 残りの時 残りのもの

クレスタイ 使用する 残りの者として自らを使用する（構成する）  
「持たない者であるかのように」、別の者、生まれ変わった者であるかのように  
生とは「総括帰一に残る者として」生きるという決意

決意と運命は一致する（決意が真に決意になる時）